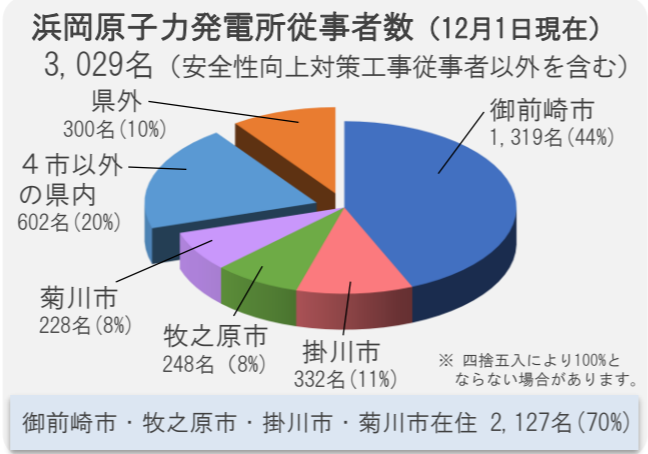




中部電力

## 今月号のお知らせ内容

- ① 全社防災訓練
- ② 静岡県および御前崎市による津波対策工事ほか追加工事の点検および確認
- ③ 浜岡原子力安全アドバイザーボードによる現場確認の実施



## ① 全社防災訓練

2020年12月1日、当社は南海トラフ巨大地震による大規模停電や原子力災害に備え、浜岡原子力発電所・本店・支店等から約1万人の社員が参加し、全社防災訓練を実施しました。

浜岡原子力発電所では、地震により1～5号機が同時に被災した想定で、以下の場所で連携して事故収束に向けた訓練を実施しました。

- ・ 緊急時対策所： 発電所の災害対策要員が集結し事故収束に向けた訓練を実施
- ・ シミュレータ室： 発電所運転員による事故収束に向けた運転操作訓練を実施
- ・ 緊急時淡水貯槽（現場）： 原子炉を冷やすための可搬型注水設備の設置訓練を実施

今後も訓練を積み重ね現場対応力の向上に取り組んでまいります。



緊急事態対策本部長から対応事項を指示（緊急時対策所）



事故収束に向けた対応方針の立案（緊急時対策所）



事故収束に向けた運転操作（シミュレータ室）



原子炉を冷やすための可搬型注水設備の設置（現場）

## ② 静岡県および御前崎市による津波対策工事ほか追加工事の点検および確認

第97回（2020年11月30日）点検および確認内容

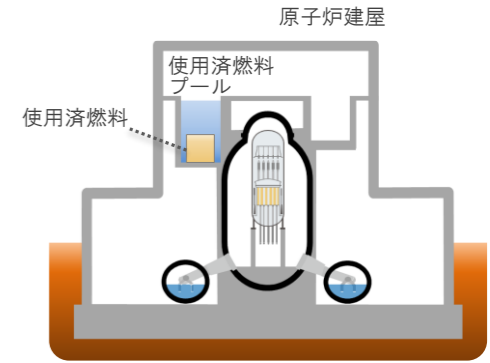
・ 使用済燃料プール水位・水温監視装置の設置工事について

### 使用済燃料プールとは

使用した燃料等を保管するために、原子炉建屋内に設けている深さ約12mの貯水槽です。通常は、燃料からの放射線を遮へいするために燃料の最頂部より約7m上の位置まで水を満たしています。

### 今回点検した使用済燃料プール水位・水温監視装置とは

万一の重大事故においても使用済燃料プールの水位や温度を確実に測定できるよう従来の計器に加え、耐震性・耐放射線性に優れた計器を新たに設置しました。

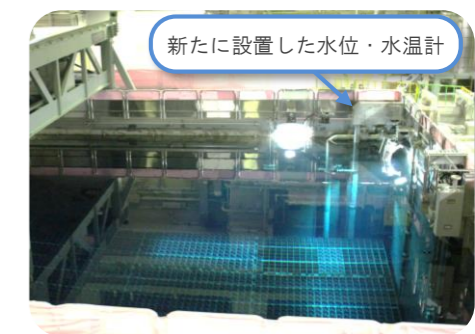


### 静岡県からの講評

現場確認および書類確認をおこなった。本装置は福島第一原子力発電所の事故に鑑み重要な装置と認識している。今後も引き続き確実な工事の実施をお願いする。

### 御前崎市からの講評

本日の点検で、計画どおり工事が実施されていることを確認した。今後も市民の安全・安心のため工事を適切に進めていただきたい。



新たに設置した水位・水温計

使用済燃料プール

## ③ 浜岡原子力安全アドバイザーボードによる現場確認の実施

2020年11月24日～27日、浜岡原子力安全アドバイザーボード（社内外の原子力専門家による委員会）の現場確認を実施しました。第6回となる今回は、労働安全確保、技術力・現場品質の向上に向けた取り組み等を確認いただきました。

委員の方々からいただいた提言を踏まえ、発電所の安全性をさらに高めてまいります。

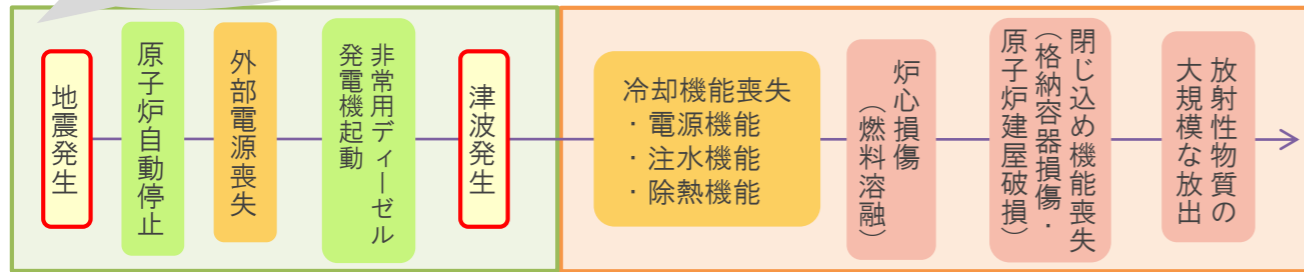


# 発電所の安全性を更に高めるための取り組み【概要】

福島第一原子力発電所の事故の教訓から、発電所では地震や津波等の様々な事態に対処するために、設備の追加配備や現場対応力の強化をおこなっています。主な取り組みをみなさまへご紹介いたします。

## ①福島第一の話

福島第一原子力発電所の事故の場合は、以下のように事象が進展しました。



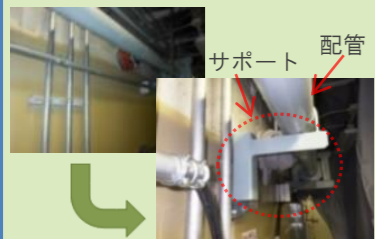
発電所では、福島事故の前から電源や注水、除熱の機能をもつ設備を多重性・多様性をもって配備していますが、事故以降、様々な追加対策を講じ、更に発電所の安全性を向上させています。

## ②設備の話

従来の設計基準の事故に加えてより厳しい想定の大規模事故に対処するため、様々な事態を想定し、対策を実施しています。また、対策に柔軟性を持たせるために、可搬型の設備も配備しています。

【主な設計基準事故対処設備】原子炉施設の安全を確保するための機器が、一斉に機能喪失しないようにします。

**巨大地震に耐える。**  
原子炉建屋は岩盤に直接設置され、地震に強い構造としています。また、配管サポートの追加をはじめとした重要な設備の耐震補強を実施しています。



**津波を浸入させない。**  
津波が発電所に来襲した場合、海抜22mの防波壁で敷地内への浸水を防ぎます。万が一、敷地内に浸水した場合でも強化扉・水密扉により建屋内の浸水を防ぎます。



**自然災害に備える。**  
発電所敷地外で発生した火災が発電所施設に燃え移らないように防火帯を設置します。



## 【主な大規模事故等対処設備】

冷やす機能を確保し、重大事故に至らないようにします。また、重大事故等の発生を想定し、事故の進展を防ぐ機能を強化しています。

**恒設**

**電源機能強化**  
ガスタービン発電機  
高台40m地点から電気を供給

**注水機能強化**  
緊急時淡水貯槽  
高台30m地点から原子炉を冷やす水を供給(7日間分)

**除熱機能強化**  
緊急時海水取水設備  
既設の海水取水ポンプが故障した場合に備え同様な設備を設置

**可搬**

**交流電源車**  
恒設の交流電源設備が故障した場合に備え配備

**可搬型注水ポンプ車**

**可搬型取水ポンプ車**  
恒設の注水設備が故障した場合に備え配備

**重大事故の発生に備える**

**フィルタバント設備**  
格納容器の破損を防止するため、気体を外部へ放出する際は、放射性物質を吸着するフィルタを通し、セシウムなどの放出量を1000分の1に抑えることで避難の長期化を防止します。

**放水砲設備**  
原子炉建屋の水素爆発を防止するため、建屋から水素を排出した際に放水砲により放射性物質を地上に落とし放射性物質の拡散を抑えます。

重大事故等に柔軟に対応するため、可搬型車両やその保管場所を確保し分散配置します。対応現場へ出動できるよう、複数のアクセスルートの確保に取り組んでいます。

## ③現場対応力の話

配備した設備が期待通りの機能を発揮するためには、扱う「人」の「現場対応力」が必要だと考え、強化しています。

### 【初動対応の強化】

緊急時即応班を設置し、運用開始に向けて増強しています。

24時間  
365日体制  
緊急時に特化した  
幅広い対応力



役割  
・戦略検討 (現在18名)  
・アクセスルート確保  
・可搬設備の操作等  
現場対応

### 【手順の整備・資格の取得】

設備導入に伴い、必要な手順の追加や免許等の資格の取得をおこなっています。



〈取得免許例〉  
・大型自動車免許  
・けん引免許  
・移動式クレーン免許 など

### 【訓練の充実】

目的に応じて様々な事故・事象への対応を網羅的に確認・強化し、緊急時に対応する組織の能力を総合的に向上させます。

#### 総合訓練



主に現場や発電所外との連携、対応手順の確認を目的に実施しています。

#### 図上演習



判断能力の向上を目的とした訓練を2015年度から実施しています。

### 個別訓練

新たに設置した設備の手順を確認するとともに、可搬設備の操作等に必要力量の向上に努めています。(年600回程度)



シミュレータ訓練



電源車操作訓練



可搬型モニタリングポスト設置訓練

今後も、安全最優先で、浜岡原子力発電所の運営に努めてまいります。また、地域の皆さまからいただいた声に丁寧にお応えし、皆さまに信頼いただける発電所を目指してまいります。